

『時事直言』 No.1431 2020年10月30日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[twitter 日本語] [t_masuda2019/](#)

[instagram] [t_masuda2019/](#)

[mail] info@chokugen.com

[twitter 英語] [T_Masuda_eng/](#)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

トランプ劇場の顛末を「小冊子」 Vol.119 で

2016年世界の予想に反してアメリカの大統領に選ばれたトランプ政権4年でアメリカ国内は分断、アメリカは世界から孤立した。

トランプのやること為すこと、ことごとく戦後アメリカ自身が築いてきた世界の常識に反する事ばかりである。

トランプの「アメリカ・ファースト」と叫ぶ声を聞くと第一次大戦時における戦略的モンロー主義が彷彿して来る。

これが5回も倒産を繰り返し、株主と投資家の犠牲を踏み台にしてアメリカの不動産王になった男が考え出したアメリカの指針なのか。

トランプ自身が口にしたように、トランプが共和党から大統領選に出馬を決意したのは「売名」の為であり、共和党に献金して買った指名であった。

トランプにとってアメリカの指針がどうであれどうでもいいことであった。

ところが2016年の大統領選を機にアメリカの国際指針と現行政治、経済体制を変革しようとする勢力に目を付けられた。

トランプは壊し屋(Scrap)に最適であることが分かり、アメリカの指針を決めるCFR(外交問題評議会)、国家戦略の神様の存在のキッシンジャー、イスラエル右派独占資本(シェルドン・アデルソン)の支持で思いがけず大統領になった。

トランプをピエロとする「喜劇、トランプ劇場」が2017年から始まったのである。

11月3日の大統領選は、フロリダを制するトランプが勝つが、万一敗れた時は、トランプのフロリダ選挙無効主張で裁判になり2000年のブッシュ・ゴア戦の様に9名中6名の判事が保守派の最高裁はトランプを選ぶ。

今後4年間、新型コロナが終息するまでは国家権力(トランプ)がモノを言い、さらに不況下では国民の声はないので、トランプは「鬼の居ぬ間に洗濯をする」。

2021年から始まる「回復無きコロナ大不況」で世界はどう変わるかを本誌で学ぶと同時に、日本人にしか出来ない不況対策の準備をして欲しい。

増田俊男の「ここ一番！」大好評配信中！

現在、増田俊男の「ここ一番！」をFAX又はe-mailにて配信しております。詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U.S.リサーチジャパン(株)Tel: 03-3956-8888、HP: www.chokugen.com まで。

【最近の配信履歴】

- 10月27日(火) No.1012 トランプご祝儀相場
- 10月21日(水) No.1011 超短期決戦の時来る！
- 10月16日(金) No.1010 ニッケイ24,000円を超せばアツという間に25,000円
- 10月09日(金) No.1009 10月12日月曜から上昇気流

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスダ U.S.リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313) までお知らせ下さい。